

関係皆様

前橋市では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた長期事前キャンプとして、南スーダンの陸上競技選手団5人を2019年11月中旬から受け入れていますが、同大会が1年延期されたことにより、今後の対応について検討を重ねてきました。

そして、いくつかの課題はありますが、慣れない環境の中、母国の復興と平和への期待を背負い、ひたむきにトレーニングを続けている選手団並びに南スーダンオリンピック委員会がキャンプ継続を希望していること、また、全国の皆様から2,000万円を超える多額のふるさと納税をいただいていることなどから、2021年開催の同大会が終了するまで、本市でのキャンプを継続したいと思っています。

今から75年前、前橋市は空襲により大きな被害を受けましたが、その後、復興のために多くの支援をいただきました。一方で、南スーダンは2011年に独立した世界で一番若い国ですが、国内の不安定な情勢が続き、国民の3分の1が難民・国内避難民になっていると言われています。こうした状況も踏まえ、今度は私たちが、南スーダン選手団の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会での活躍に向けて、微力ながら支援したいと考えています。

今後とも南スーダン選手団への温かいご支援、ご声援をお願いします。

2020年7月22日

前橋市長

山本龍